

令和6年2月15日
経済環境委員会資料
商工労働部

目 次

【報告事項】

| | | |
|---------------|-------|-----|
| 1 くすり関連施設について | | 1 頁 |
|---------------|-------|-----|

くすり関連施設について

[コンベンション・薬業物産課]

1 趣 旨

くすり関連施設については、平成30年度に「基本構想・基本計画」を策定して以降、施設整備は未着手となっていたが、北陸新幹線敦賀延伸など社会環境の変化を踏まえ、整備予定地を変更した上で整備を進めることとするもの。

2 これまでの基本構想・基本計画の概要

300有余年の歴史を有し、本市に根差した産業である「くすり」を、市民が「富山らしさ」を再認識し、まちに対して愛着や誇りを抱くキーコンセプトとして捉え、シビックプライドを醸成するため、くすり関連施設を整備することとしている。

(1) 基本理念

富山のくすりの歴史と文化、精神を継承し、薬都の未来を市民とともに創造する

(2) 基本方針

| | |
|--------------|-------------------------------------|
| ① シティブランディング | 「薬都とやま」のブランドイメージを強化する。 |
| ② シビックプライド | 産業の礎を築いた先人の知恵に学び、富山人として誇りを育む場を創出する。 |
| ③ 賑わい・回遊性 | 中心市街地の賑わいと回遊性を生み出す拠点を創出する。 |
| ④ 産官学民連携 | 産官学民連携により「薬都とやま」の未来像を描く。 |

(3) 機能

| | |
|---------|-----------------------------------|
| 展示・体験 | 展示事業、解説事業 |
| 交流・サービス | 薬都案内サービス事業、催事事業、飲食・物販事業、資料収集・活用事業 |
| 未来創造 | 情報発信事業、産官学民連携事業 |

(4) 施設規模等

- ① 整備予定地 図書館旧本館跡地
- ② 建築面積 1,500 m²
- ③ 延床面積 3,500 m²
- ④ 階数等 2階+ (地下)

3 経過

| | |
|--------|---|
| 平成30年度 | くすり関連施設基本構想等策定委員会設置 くすり関連施設基本構想・基本計画策定 |
| 令和元年度 | くすり関連施設におけるPPP導入可能性調査の実施 |
| 令和2年度 | 城址公園におけるパークマネジメントの検討 |
| 令和4年度 | 薬業資料のデジタルアーカイブ化事業開始 |

※PPP導入可能性調査やパークマネジメント事業としての可能性調査では、賑わい創出などの面から図書館旧本館跡地における施設単体での整備は難しく、誘客が期待できる公共施設や薬と親和性の高い民間収益施設との複合化について少し時間をかけて引き続き検討していくこととなった。

4 整備予定地等の見直し

(1) 見直しに至る経緯

くすり関連施設については、経済界からの要望や薬業界の期待を踏まえ、整備に向けた検討を続けてきたが、基本構想・基本計画策定後にコロナ禍に見舞われるなど、本市を取り巻く社会経済情勢が大きく変化したことにより、事業がなかなか進まない状況にあった。

一方、旅行需要が回復傾向にある中、本年3月に北陸新幹線金沢―敦賀間の開業が控え北陸への関心が高まり、都市間競争が激化することが予想されることから、時機を捉えて首都圏や関西方面からの観光客の誘客に向けた取組みを進めていくことが重要になるものと考えられる。

こうした経緯や背景を鑑み、くすり関連施設の整備を進めていくにあたって、「富山のくすりの歴史と文化、精神を継承し、薬都の未来を市民とともに想像する」との基本理念や基本方針、機能など基本的な考え方は踏襲しつつ、新たな賑わい・交流

の拠点としての機能も付加し、このたび整備予定地等を見直すこととしたものである。

(2) 整備予定地について

富山駅周辺・中心市街地において民間建物を賃借し確保することとする。

候補地：「アーバンプレイス（北陸電力エネルギー科学館 ワンダー・ラボ跡）」

(3) アーバンプレイスを候補地とするメリット

- ① 富山駅に近いことで、新幹線を利用する観光客の利便性が高まる。
- ② 富山の観光を巡るうえでの拠点となる可能性を秘めており、富山駅周辺の既存の観光資源との相乗効果による集客や、市内電車富山港線、富岩水上ラインとの連携が可能となる。
- ③ 大型観光バスの収容が可能な富山市営駅北駐車場が利用できる。
- ④ 床の賃借とすることで、建設時の初期費用を抑え事業費の平準化を図ることができる。

5 今後の予定

平成30年度に策定した「基本構想・基本計画」の基本理念や基本方針、機能など基本的な考え方を踏襲しつつ、新たな候補地での整備を進めることとし、今後、民間活力導入可能性調査の実施に向けた検討を行うものとする。